



山梨大学大学院総合研究部（工学域）
地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

令和元年5月29日
 国立大学法人 山梨大学

令和元年度事業計画：中部横断自動車道開通による整備効果分析

- 【事業の概要】**
- (1) 中部横断自動車道の開通前後のデータから、山梨-中京圏の経路変更状況を把握（中央道利用から中部横断道-新東名利用に変更されたか？）。
 - (2) 中部横断自動車道が順次開通することによる時間短縮効果を計測。
 - (3) 物流面の効果（物流の時間短縮効果（運送業者の生産効率性向上効果）、産業別 GRP 変化、清水港等を利用した貿易効果など）を計測。
 - (4) 人流面の効果（自家用車を含む人流の時間短縮効果、観光客増による経済効果、インバウンド効果など）を計測。
 - (5) 中部横断自動車道の災害時のリダンダンシー効果の計測方法の検討。
- 【役割分担】**
- (1) 国土交通省甲府河川国道事務所と山梨県等が中心となりデータを収集。経路変更状況の把握は、大学(武藤)が協力して実施。
 - (2) 国土交通省甲府河川国道事務所と大学(武藤)が交通ネットワーク分析に基づき実施。
 - (3) (4) 物流効果、人流効果の計測は、国土交通省甲府河川国道事務所、山梨県等と協力しながら大学(武藤)が空間的応用一般均衡（SCGE）モデルを用いて実施。
また、中部横断自動車道開通が産業界にもたらした具体的な物流および人流面の効果は、山梨経済同友会等の協力をいただき大学(武藤)が調査する。
 - (5) リダンダンシー効果の計測方法は大学(武藤)が検討を行い、必要なデータ等の整理を行う。



空間的応用一般均衡（SCGE）モデル概要



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

令和元年5月29日
国立大学法人 山梨大学

2019年度事業計画：国際観光地の防災まちづくり（継続）

【事業の概要】

- (1) 富士河口湖町と山梨大学の包括的協定に基づく事業
- (2) 観光事業者の観光危機管理（同時通訳スマホアプリを活用）
- (3) 富士山火山噴火シナリオに基づく訓練

【役割分担】

- (1) 山梨県防災局、他：災害対応訓練への協力。
- (2) 富士河口湖町：地域防災計画の見直し検討。地区住民、観光事業者の観光危機管理の推進。
- (3) 山梨大学：観光施設における災害対応訓練（実験）の実施。



同時通訳スマホアプリを用いた外国人観光客に対する災害対応のプレゼンテーション



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

令和元年5月29日
国立大学法人 山梨大学

令和元年度事業計画：早川流域における表層崩壊による土砂流出モデルの開発（新規）

【事業の概要】

- (1) 早川流域における表層岩盤のスレーキング特性に関する実験的研究
- (2) 地形的指標による早川流域土砂生産危険性評価の検討
- (3) 表層崩壊による土砂の生産・移動履歴を評価した土砂流出モデルの開発

【役割分担】

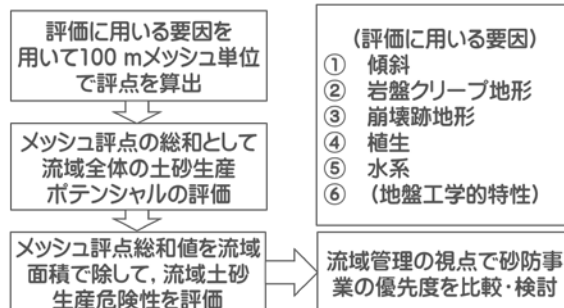
- (1) 国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所
- (2) 山梨大学（研究協力：帝京平成大学，東電設計株）

* 国土交通省が実施する砂防関係事業等における技術的な課題に対して、地域の研究機関に所属する研究者と管理者が、各現場をフィールドにした現地調査等を通し共同して技術研究開発を行い、砂防関係事業等実施上の課題を解決することを目的とする。



早川（大春木）右岸における表層崩壊

表層崩壊による土砂の生産・移動履歴を評価した土砂流出モデル案





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

令和元年5月29日
国立大学法人 山梨大学

令和元年度事業計画：水害に強いまちづくり（継続）

【事業の概要】

- (1) 水害に強い甲府盆地推進研究会の開催
- (2) 事例調査
- (3) シンポジウムの開催（事業成果の報告・公開）

【役割分担】

- (1) 山梨大学は研究会、シンポジウムを企画、実施する。
- (2) 国土交通省は研究会に参加し、国土交通省の立場で研究会の運営に協力する。
- (3) 山梨県は研究会に参加し、山梨県の立場で研究会の運営に協力する。
- (4) 県内市町村（市町村長を含む）：研究会への参加。
- (5) 民間企業：参加希望を募る。



出典：滋賀県流域治水の推進に関する条例



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

令和元年5月29日
国立大学法人 山梨大学

令和元年度事業計画：社会基盤施設の健全度評価技術の実用化

【事業の概要】

- (1) これまでに開発してきた社会基盤施設の健全度を評価する計測・分析技術について、問題点に対応した改良を行う。
- (2) 上記の技術を実際の社会基盤施設で運用し、精度の検証を行う。
- (3) 実務での計測・分析結果をクリアリングハウスに導入し、実用化に向けた表示方法を検討する。

【役割分担】

- (1) 国・県・市町村が管理する道路や橋梁での実計測（国あるいは県・市町村）
- (2) 社会基盤施設の既往の計測データ提供（国あるいは県・市町村）
- (3) 計測・分析技術を実際の道路等で運用し精度を検証する（大学）
- (4) 新たな計測・分析結果をクリアリングハウスに反映し、表示方法を検討（大学）

道路の路面状態の画像計測と分析

